

「夫婦のあり方や行動に関する意識調査」分析結果報告

拝啓

秋色もようよう濃くなって参りました。みなさまご健勝にお過ごしのことと存じます。

さて、このたびわれわれ社会心理学の研究グループにおきまして実施致しました、“夫婦のあり方や行動に関する意識調査”にご協力頂き誠にありがとうございました。178組のご夫婦の方々に回答して頂くことができました。

本調査は、夫婦のあり方や行動に関する意識を調査することで、夫婦関係をより良いものとし、それを維持していくために役立つ科学的な知見を得ようという目的でおこなわれたものです。

さて皆様に回答して頂いた調査結果のいくつかについて簡単ながら報告させて頂きたく思います。特に夫婦間の意識の違いということに焦点を絞り、結果をまとめております。ご参照頂ければ幸いです。

このたびは重ね重ねありがとうございました。

敬具

2004年9月30日

石盛 真徳(京都光華女子大学)

金政 祐司(相愛大学)

小林 知博(社会技術研究システム)

清水 裕士(大阪大学)

谷口 淳一(大阪国際大学)

三浦 麻子(神戸学院大学)

． 夫婦の基礎データ

このたびの調査で得られたデータは、以下のような夫婦関係の回答を分析したものです。

		職業	妻	夫
結婚年齢	23.79 年	フルタイム	18.2%	78.9%
妻の年齢	49.24 歳	自営業	6.9%	16.1%
夫の年齢	51.70 歳	パート	25.8%	0%
子どもの人数	2.24 人	主婦	46.5%	0%
一番下の子どもの年齢	18.16 歳	無職	.6%	3.7%
		その他	1.9%	1.2%

． 夫婦関係で一緒に行くこと、一緒にはなすこと

「1 ヶ月間夫婦で一緒に行ったこと、一緒に会話したことに丸をつけてください」という質問において、以下のような結果が得られました。

「食事をする」「テレビを見る」など、日常的な行動を8割以上の夫婦が一緒によく行う行動であることがわかります。逆に「スポーツをする」「映画を見る」などのレジャーを楽しむ行動が比較的すくないことがわかります。

また、共に会話する内容については「子どものこと」「世間話」「知人の話」など、子どもやまわりのことについての話題が上位でした。逆に「生き方について」「互いの性格」「二人の将来」など、夫婦二人のことについてはあまり話されていませんでした。

一緒にする行動

食事をする	84.8 %
テレビ、ビデオを見る	81.1 %
同じ部屋で寝る	74.2 %
買い物に行く	72.0 %
家事をする	40.1 %
ドライブ	37.3 %
散歩する	28.6 %
音楽を聴く	12.1 %
趣味の活動を行う	11.5 %
映画館に行く	9.6 %
スポーツをする	8.7 %
コンサートに行く	3.7 %

一緒にする会話

子どもの事	86.3 %
世間話	77.6 %
知人の話	61.8 %
社会問題	54.7 %
家計	54.0 %
家の近所の事	50.9 %
お互いの仕事	43.2 %
悩み事	32.6 %
趣味	29.5 %
二人の将来	26.1 %
お互いの性格	23.9 %
生き方	23.0 %

・ 夫婦関係についての夫と妻の意識の違い

夫婦関係の実際についてどう感じておられるかをおうかがいした項目について、夫 vs 妻比較をおこないました。5段階評価ですので、平均点が3を超えていれば肯定的な、3に満たない場合は否定的な傾向があるということになります。また「差がある」「差がない」というのは、単に数値に違いがあるというだけではなく、統計的な分析によって導き出された結論です。

1. 夫婦関係のありよう

「夫婦二人でいるとき、私たちはよく会話をする」「夫婦二人で一緒に過ごすことが多い」という2項目については、夫と妻の平均値に差はありませんでした。また、平均値も3を上回っており、おおむね肯定的な評価をしている夫婦が多いようです。

2. 夫婦関係に対する満足

(1)「私は私たちの関係に満足している」(2)「私にとって私たちの関係は私の要求を満たしてくれる」の両項目とも、夫も妻も平均値は3を超えているのですが、夫と妻の間に差が見られました。いずれの項目についても、妻(1の平均値4.14、2の平均値3.84)の方が夫(1の平均値3.52、2の平均値3.28)よりも肯定的な(つまり、満足している)結果になっています。

3. 夫婦間コミュニケーションのようす

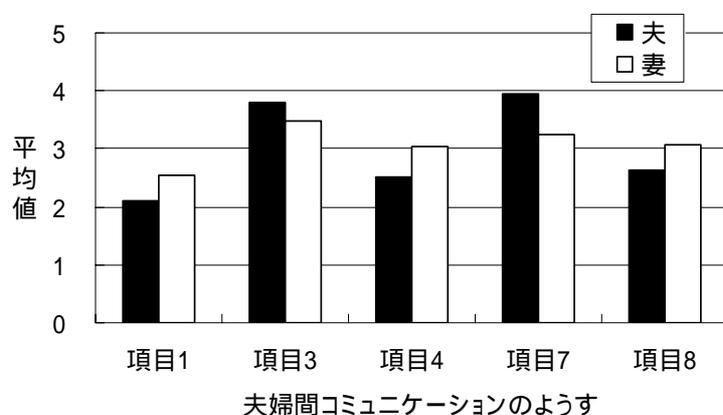
項目1「私は日常生活での要件を命令口調で言う」

項目3「私は悩み・迷いごとがあると、夫/妻に相談する」

項目4「私は夫/妻の話にいい加減な相づちを打つ」

項目7「私は重要なことの決定は、夫/妻の意見に従う」

項目8「私は他のことをしながら、うわのそらで夫/妻の話を聞く」



これら5項目については、左のグラフに示したように、夫/妻の平均値に差がみられました。ここでも3が中間値となります。その他の項目については差がありませんでした。

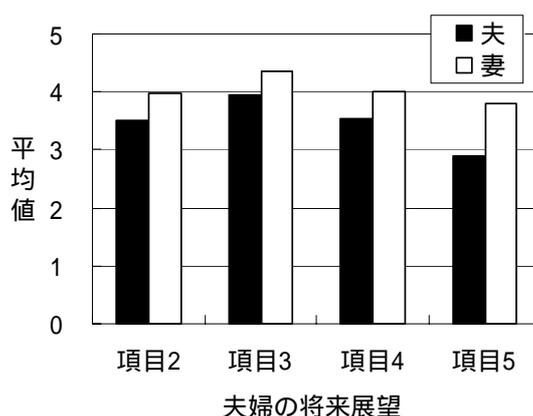
4. 夫/妻との将来展望

項目 2「夫婦で一緒の時間を過ごしたい」

項目 3「夫婦二人で旅行を楽しみたい」

項目 4「夫婦二人同じお墓に入りたい」

項目 5「夫/妻より先に死にたい」



これら 4 項目については、右のグラフに示

したように、夫/妻の平均値に差がみられ

ました。項目 1「夫婦で共通の趣味をもちたい」には差はみられず、平均すると夫婦ともやや肯定的な回答でした。

5. 夫婦間の愛情

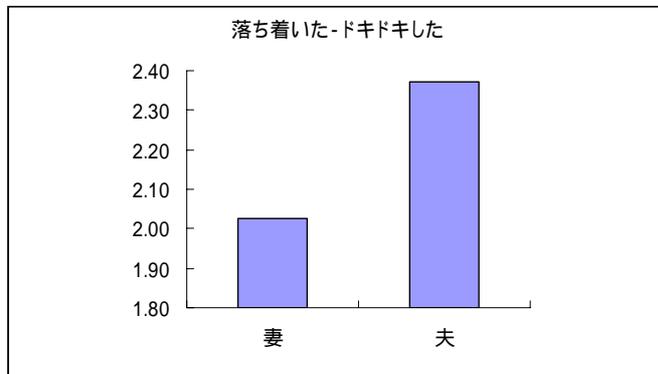
下の表の項目は、夫婦間の愛情を測るための質問項目です。それらの得点について、夫と妻を比較したところ、12番目の項目以外は全て統計的な違いが見られ、それらは全て妻の得点の方が高いという結果が得られました。また、15項目の合計の得点についても、やはり妻の方が高く、妻の方が夫よりも相手に対して愛情を感じているという結果になりました(得点の右の*は、その数が多いほど夫・妻間の違いが大きいことを示しています。つまり、02、05、06、07、08、09、11、13、14の項目などは特に妻の得点が高かったことになります)。

ただ、夫・妻とも平均値は 3 を上回っており、お互いに対して愛情も持っていると評価している夫婦が多いようです。

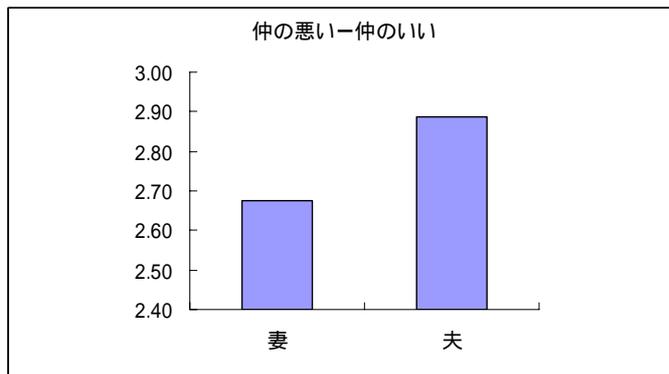
質問項目	夫	妻	
01. 私と夫/妻の関わりは揺るぎないものである。	3.54	3.86	*
02. 夫/妻との関係は居心地の良いものである。	3.54	4.11	***
03. ふと気がつくとき夫/妻のことを考えているときがよくある。	2.74	3.12	**
04. 夫/妻は必要なときには私を頼ることができる。	3.93	4.14	*
05. 私にとって夫/妻との関係よりも大切なものなど他にない。	3.07	3.67	***
06. ロマンチックな映画を見ると、つい夫/妻のことを考えてしまう。	2.26	2.73	***
07. 夫/妻は私にとって非常に魅力的な人だ。	2.91	3.58	***
08. 私と夫/妻との関わりは何ものにも邪魔されないものである。	3.15	3.69	***
09. 夫/妻について空想にふけることがある。	1.99	2.39	***
10. 私と夫/妻の関係は温かいものである。	3.60	3.94	**
11. 夫/妻との関係を終わらせることなど私には考えられない。	3.59	4.14	***
12. 私は必要なときには夫/妻を頼ることができる。	4.14	4.10	
13. 夫/妻を見るだけでドキドキしてしまう。	1.87	2.26	***
14. 私は夫/妻なしの生活など考えられない。	3.33	3.91	***
15. 夫/妻とはうまくコミュニケーションがとれている。	3.57	3.89	*
合計	3.12	3.57	***

6. 夫婦関係の印象

自分たちの夫婦関係の印象について、「明るい-暗い」「安心な-心配な」といった反対の意味を持つ形容詞がどの程度当てはまるかを1~5点で評価していただきました。その中で、夫婦間で統計的に差があったものについて報告します。



「落ち着いた-ドキドキした」という印象については夫の方が「ドキドキした」という印象を高く持っている事がわかりました。妻は夫よりも「落ち着いた」印象をもっているようです。



また、「仲の悪い-仲のいい」という印象については、夫の方が「仲のいい」という印象を高く持っている事がわかりました。

この2つ以外の印象については統計的な差は見られませんでした。

． 夫婦相互のイメージ

1. 夫婦の配偶者に対するイメージ操作の試み

下の表は、夫は妻に、妻は夫に自分のことをどのように思ってもらいたいと心がけているかをまとめたものです。評定の選択肢は、「1(心がけていない)」～「4(心がけている)」でしたので、平均が 2.5 以上ですと、全体的に「心がけている」方に回答されていたこととなります。夫も妻も「配慮のできる」や「他者をほっとさせる」、「陽気な」といった領域の値が高くなっています。

夫と妻の評定値を比較したところ、いくつかの違いが見られました(*マークは、統計的に違いがあることを示しています)。夫は(妻よりも)「頭の良い」、「スポーツのできる」、「他人に威圧的な」という、どちらかという自己主張の強い領域において、妻は(夫よりも)「外見的魅力」と「他者をほっとさせる」というイメージで配偶者から見てもらえるように心がけていることがわかります。

特徴	夫	妻	
頭のよい	2.47	2.27	*
スポーツのできる	2.03	1.68	*
他人に威圧的な	1.55	1.34	*
楽しい・陽気な	2.55	2.54	
配慮のできる	2.76	2.86	
外見的魅力	2.16	2.43	*
他者をほっとさせる	2.57	2.79	*
助けてあげたい	2.02	2.01	
若々しい	2.43	2.57	
精神的に強い	2.24	2.17	

2. 夫婦のお互いに対するイメージ(評価)

下の表は、夫婦がお互いに相手をどう思っているか、つまり、妻は夫のことを、夫は妻のことをどう思っているかをまとめたものです。評定の選択肢は、「1(当てはまらない)」～「4(当てはまる)」でしたので、平均が 2.5 以上ですと、全体的に「当てはまる」方に回答されていたこととなります(多少マイナスのイメージとなる「他人に威圧的な」を除く全ての項目で、夫か妻のどちらかの評定値は 2.5 以上になっています)。

夫と妻の評定値を比較したところ、「精神的に強い」以外の全てにおいて統計的な違いが見られました(*マークは、統計的に違いがあることを示しています)。ただし、「頭の良い」、「スポーツのできる」、「他人に威圧的な」という、どちらかという自己主張の強い領域において、妻は夫のことを

(夫が妻に抱くイメージよりも)高く評価しています。また、逆に「楽しい・陽気な」、「配慮の出来る」、「外見的魅力」、「他者をほっとさせる」などの、どちらかという「他者とうまく接する」ことにかかわる領域において、夫は妻のことを(妻が夫を評価するよりも)高く評価していることがわかります。

特徴	妻からみた「夫」	夫から見た「妻」	
頭の良い	3.07	2.86	*
スポーツのできる	2.65	2.02	*
他人に威圧的な	2.05	1.71	*
楽しい・陽気な	2.62	2.94	*
配慮のできる	2.76	3.15	*
外見的魅力	2.24	2.74	*
他者をほっとさせる	2.59	2.97	*
助けてあげたい	2.05	2.66	*
若々しさ	2.50	2.75	*
精神的に強い	2.94	2.92	

IV の 1, 2 をまとめると、全体的に、夫も妻も、「相手からこう見られたい」と心がけているイメージで、実際に相手からも見られているということが分かります。夫婦間のイメージ戦略は、おおむね成功していると言えるでしょう。ただ、夫婦ともに、「配慮のできる」や「他者をほっとさせる」、「陽気な」といった領域の値がもっとも高くなっていることから、男女にかかわらず他者に対する思いやりという側面が重視されていると言えます。これが、特に対人関係を重視する日本人の特徴なのかどうかは、今後の研究で明らかにしていく予定です。

．最後に

今後は、これらのデータに基づいて心理学的な観点からより詳細な分析をおこない、中年夫婦の日常生活と互いに対する印象、また結婚生活に対する考え方の関係を解明していく予定です。分析結果は、心理学関係の学会で発表したり、論文としてまとめることとなりますが、その際は、個人が特定できるようなデータは一切出さないことを改めてお約束いたします。またご質問等ございましたら、調査依頼者にお気軽にご質問ください。ご協力、本当にどうもありがとうございました。